

平成 22 年 度 事 業 報 告 書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利法人ハートセービングプロジェクト

1 事業の成果

1班4～7人の地方検診班を3班、カテーテル治療の2班を含む5班を編成し、班別に少人数制度を導入したところ、日本側、モンゴル側どちらにとっても好評でした。少人数ずつの複数回渡航はモンゴル側医療スタッフへの教育的効果の向上に確実に繋がって来ております。

地方検診班のモンゴル国内でかかる費用をモンゴル側の負担で行うことができました。今後も続々と地方検診の要請が来ています。モンゴルでの広報活動により、受け手であるモンゴル国の中で「モンゴルの子供たちの健康はモンゴルの人々の手で」と思う気持ちが大きく前進したように思います。

本年度は現地における治療活動及び教育活動に加え、日本へ招聘しての教育事業を初めて実施しました。これは2010年7月幕張で開催された第3回アジア太平洋小児循環器学会での発表と日本の病院2ヶ所の見学です。このことは現地の活動拠点で従事する関係者のモチベーション向上に大いに役立ちました。

外務省の「NGO連携無償資金協力」の枠組で日本赤十字医療センター、アロカ社、ハートセービングプロジェクト合同のエコー機無償供与事業は関係者各位の甚大なご協力をいただき無事終了いたしました。

資金面については、昨年並みの事業規模であれば安定的に活動していけるだけの募金が集まりました。ボランティア活動の実施国であるモンゴル国では、昨年、ハートセービングプロジェクトの活動について8回ほどマスメディア、新聞、テレビが取り上げられ、日本国内でも各新聞のハートセービングプロジェクトの活動について大きく取り上げました。

慰問活動についてはボランティア医師の所属する病院への慰問を1ヶ所行いました。

なお、残念ながら本年度、本来事業が前年度に比較して、ボリュームが増えたため、収益事業を一際実施する余裕がありませんでした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 内 容 | 実 施 日 時 | 実 施 場 所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|-----|---|-----------------------|-----------------------------------|--------|--------------------------|---------|
| | 第1 検診ホブド班のホブド県にて小児心疾患の検診実施の促進と支援及び結果の報告（現地での滞在費、食事代、移動費、通信費を含む） | 2010. 5. 1 ～5. 5 | モンゴル国ホブド県、 ウランバートル市 | 7名 | モンゴル国各病院に関わる医師、及び患者不特定多数 | 752 |
| | 第2 検診バヤンホンゴル班のバヤンホンゴル県にて小児心疾患の検診実施の促進と支援及び結果の報告（現地での滞在費、食事代、移動費、通信費を含む） | 2010. 6. 19 ～6. 25 | バヤンホンゴル県、 シャラガルジョト ウランバートル市 | 5名 | モンゴル国各病院に関わる医師、及び患者不特定多数 | 787 |

| | | | | | | |
|------------------------|--|---|---|-----|------------------------------|-------|
| 海外医療ボランティア活動を海外で支援する活動 | HSPがモンゴルで看ているモンゴルで治療不可能な女児患者を日本で手術するにあたってサポートと報告 | 2010. 6. 20～ 6. 30 | モンゴル国 ウランバートル市 | 10名 | モンゴル国各病院に関わる医師、及び患者 | 35 |
| | HSPが契約しているモンゴル国立母子センター循環器医師が日本で行われる第3回アジア太平洋小児循環器学会に向けて準備サポートと報告 | 2010. 6. 20～ 6. 30 | モンゴル国 ウランバートル市 | 13名 | モンゴル国各病院に関わる医療従事者複数 | 17 |
| | 第3検診アルハンガイ班のアルハンガイ県にて小児心疾患の検診実施の促進と支援及び結果の報告（現地での滞在費、食事代、移動費、通信費を含む） | 2010. 7. 17～ 7. 24 | アルハンガイ県、 ホジルト市 | 6名 | モンゴル国各病院に関わる医師、及び患者 不特定多数 | 479 |
| | 第1カテーテル班の現地でのモンゴル国渡航治療活動の促進と支援及び結果の報告。（現地での滞在費、食事代、移動費、通信費を含む） | 2010. 10. 6～ 10. 23 | モンゴル国 ウランバートル市 | 12名 | モンゴル国各病院に関わる医師、及び患者 不特定多数 | 1,392 |
| | 第2カテーテル班の現地でのモンゴル国渡航治療活動の促進と支援及び結果の報告。（現地での滞在費、食事代、移動費、通信費を含む） | 2010. 12. 26～ 12. 31 | モンゴル国 ウランバートル市 | 7名 | モンゴル国各病院に関わる医師、及び患者 不特定多数 | 516 |
| | モンゴル国母子センター、国立癌研究センターに心エコー機を贈呈する活動の促進と支援及び結果の報告。（現地での滞在費、食事代、移動費、通信費 | 2011. 3. 25～ 4. 6 | モンゴル国 ウランバートル市 | 8名 | モンゴル国民 不特定多数 | 151 |
| | 現地におけるマスメディア対応 | 2010年5月、 6月、7月、 10月、12月、 2011年3月 | モンゴル国ホブド県、 バヤンホンゴル県、 アルハンガイ県、 ウランバートル市 | 12名 | モンゴル国一般 市民不特定多数 | 0 |
| | コーディネートに関する業務 | 2010. 4、5、 6、7、10、 12、3 | モンゴル国ホブド県、 バヤンホンゴル県、 シャラガルジョート、 アルハンガイ県、 ホジルト市、 ウランバートル市 | 8名 | モンゴル国 各病院に関わる 医療従事者複数 | 186 |
| 海外医療ボランティア活動を日本で支援する活動 | 第1検診ホブド班の準備作業、ボランティア旅行手配、活動先となる病院との折衝、必要な医療物資の調達など現地との調整 | 2010. 4. 1～ 4. 31 | 世田谷区 (事務所内) | 6名 | モンゴル国心臓 疾患患児及び 不特定多数 | 1,095 |
| | 第2検診バヤンホンゴル検診班の準備作業、ボランティア旅行手配、活動先となる病院との折衝、必要な医療物資の調達など現地との調整 | 2010. 5. 1～ 6. 18 | 世田谷区 (事務所内) | 6名 | モンゴル国心臓 疾患患児及び 不特定多数 | 1,078 |
| | 第3検診アルハンガイ班の準備作業、ボランティア旅行手配、活動先となる病院との折衝、必要な医療物資の調達など現地との調整 | 2010. 6. 16～ 7. 16 | 世田谷区 (事務所内) | 6名 | モンゴル国心臓 疾患患児及び 不特定多数 | 1,062 |
| | HSPがモンゴルで看ているモンゴルで治療不可能な女児患者を日本で手術できるように調査、手配、活動サポート | 2010. 6. 30～ 8. 9 | 世田谷区 (事務所内) | 10名 | モンゴル国 患児1名 | 218 |

| | | | | | | |
|---------------|--|---|-------------------------------|-----|---|-------|
| | HSPが契約しているモンゴル国立母子センター循環器医師が日本で行われる第3回アジア太平洋小児循環器学会へ発表を通じ医師の教育。 ドナルド・マクドナルドハウス栃木、自治医科大学とちぎ子ども医療センター、神奈川県立子ども医療センター、東京女子医科大学を訪問。 | 2010. 6. 30～ 7. 12 | 栃木県 神奈川県 世田谷区 (事務所内) | 13名 | モンゴル国 各病院に関わる 医療従事者複数 | 380 |
| | 海外へ医療物資の発注 | 2010. 7. 23～ 12. 10 | 横浜市、出雲市、 世田谷区 (事務所内) | 6名 | モンゴル国心臓 疾患患児及び 不特定多数 | 4,871 |
| | 第1カテーテル班の準備作業、ボランティア旅行手配、活動先となる病院との折衝、必要な医療物資の調達など現地との調整 | 2010. 10. 15～ 12. 25 | 世田谷区 (事務所内) | 6名 | モンゴル国心臓 疾患患児及び 不特定多数 | 1,869 |
| | 第2カテーテル班の準備作業、ボランティア旅行手配、活動先となる病院との折衝、必要な医療物資の調達など現地との調整 | 2010. 10. 15～ 12. 25 | 世田谷区 (事務所内) | 6名 | モンゴル国心臓 疾患患児及び 不特定多数 | 1,505 |
| | 島根県立中央病院小児病棟、出雲モンゴル朋の会を朝赤龍関が慰問。 | 2010. 11. 9 | 出雲市 | 12名 | 約150名病棟患者 及び病院関係者 | 55 |
| | モンゴル国立母子センター、国立癌研究センターに心エコー機械を贈呈する活動の打ち合わせ | 2011. 3. 25～ 4. 6 | 世田谷区 (事務所内) | 8名 | モンゴル国 各病院 | 567 |
| 国内で広報 する活動 | 鳥取県小児科医会で「モンゴル渡航小児循環器心療10年の歩み」テーマでHSPの理事長が講演 | 2010. 4. 11 | 米子市 | 2名 | 来場者多数 | 1 |
| | 駐日モンゴル国大使、昭和大学横浜北部病医院循環器科、呼吸科の先生、昭和大学横浜市北部病院の会合へHSPの活動報告資料提供 | 2010. 4. 16 2010. 6. 22 2010. 7. 24 | 横浜市 | 7名 | 150名 | 1 |
| | HSPがモンゴルで看ている女兒患者が来日し産経新聞、日刊スポーツ新聞へ活動資料提供。 島根日日新聞へ活動資料提供 | 2010. 5. 29 2010. 6. 9 2010. 6. 29 2010. 7. 21 2010. 7. 22 2010. 7. 26 2010. 7. 27 2010. 7. 28 2010. 8. 3 2010. 8. 4 2010. 8. 9 2010. 12. 13 2010. 12. 20 | 横浜市 都内、 島根県 | 7名 | 産経新聞、日刊 スポーツ新聞、 島根日日新聞 読者不特定多数 | 1 |
| | 伊勢が浜部屋、高砂部屋へ活動資料提供、活動紹介 | 2010. 6. 17 2010. 10. 3 | 都内 | 6名 | 伊勢が浜部屋、 高砂部屋関係者 不特定多数 | 1 |
| | | | | | | |

| | | | | | |
|--|--|--------------------------------------|-----|-------------|----|
| 都内の施設にてモンゴルから来日した方々活へ動紹介 | 2010. 8. 2 2010. 8. 3 2010. 8. 9 2010. 9. 27 2010. 10. 8 2010. 11. 25 2010. 12. 10 2011. 3. 3 | モンゴル大使館、両国、池袋、渋谷、新宿、恵比寿、練馬区、世田谷区の事務所 | 11名 | 一般市民、来場者多数 | 1 |
| HSP 宣伝ブログ開始、Yahoo! ボランティアへの登録、HSP の活動紹介の動画を You tube にアップ、HSP のホームページをご覧になった市民の方に HSP の活動紹介、資料提供 | 2010. 8. 24 2010. 10. 1 2011. 1. 17 | 茨城県、世田谷区(事務所内) | 2名 | 一般市民 | 4 |
| HSPの事務局長が福島県観光物産交流協会にて講演し、HSPの活動紹介、資料提供 | 2010. 11. 24 | 福島県 | 6名 | 来場者多数 | 1 |
| 国際デュアルビジネス専門学校、国際外国語学院にて、日馬富士関と一緒にHSPの活動紹介、資料提供 | 2010. 12. 2 | 都内 | 5名 | 学校関係者多数 | 1 |
| 全国各地の長崎県鷹島モンゴル村、兵庫県オータニ モンゴルの里、栃木県モンゴリアビレッジテンゲルなど国際交流関係団体の施設内にて広報ツール配布、募金箱設置。 | 2011. 3. 25 | 長崎県、兵庫県、栃木県、岐阜県、静岡県、宮崎県、長崎県、米子市、都内 | 6名 | 各施設来場者不特定多数 | 28 |

(2) その他の事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 支出額(千円) |
|---------------|------|------|------|--------|---------|
| イベント事業・物販販売事業 | 無し | | | | 0 |